

医療費が2割負担に
なったので、**来年からは受診を
減らそう**と思っている。
(78歳)

物価が高騰し
年金生活者にとって、
生活が苦しくなるばかりです。
年と共に体調も悪くなるばかり…
**ガマンしてそれでも痛みが勝てば
医者に行きます。**(77歳)

全世代で/
**5人に1人が
過去半年以内に、
「経済的理由で受診を
控えたことがある」**

これから先、
**自分たちの負担分を
考えると暗い気持ち
になる。**
1日3食たべれるのか
…とマジで考えます。
(55歳)

**介護費用が
月10万円で高い。**
介護する私(60代)の
老後はどうなるか。

22%

2022年保団連アンケートリポートより (n=692)

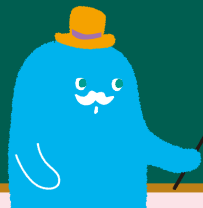
老老介護ゆえ
これ以上の負担が
増えると**共倒れになる
恐れがあります。**

(介護利用者負担が)2割になると、
**自宅での介護が続けられなくなるが、施設に入れる
お金もないので、どうすればいいか困ってしまう。**

2022年10月に75歳以上の医療費窓口負担2割化を強行!
その上!医療・介護のさらなる負担増が狙われている。

医療では…

- 75歳以上の約4割(年収153万円以上)の人の保険料負担を引き上げる



介護では…

- 利用者負担2割の対象者を拡大する
- 老健施設等の多床室(相部屋)室料を新設する

社会保障に私たちの声を反映させよう!

負担増ストップ!国民の医療と介護を守る緊急請願署名にご協力ください



負担増ストップ!国民の医療と介護を守る 緊急請願署名

■■■ 請願趣旨 ■■■

長引くコロナ禍に物価高騰が追い討ちをかけ、私たちの暮らしは厳しさを増しています。暮らしを守り経済を立て直す抜本的対策が急務です。しかし、政府は、暮らしを支える対策どころか社会保障費を削減し、医療や介護の負担増を進めています。

2022年10月には、75歳以上で年収200万円以上の人、約370万人の医療費窓口負担2割化が強行されました。今年の通常国会では、後期高齢者医療制度の保険料引き上げ(年収153万円以上、後期高齢者の約4割が対象)など医療のさらなる負担増が提案され、さらに、介護保険利用者負担2割の対象拡大、老健施設などの多床室の室料有料化など、介護の大幅な利用者負担増が狙われています。しかし、非正規雇用の増加、低賃金労働のまん延、年金引き下げによって格差や貧困が広がり続け、私たちの負担はもう限界です。

一方、医療、介護従事者は、政府の社会保障費抑制政策の下で、人手不足、長時間・過密労働など過酷な労働環境に置かれており、これは患者・利用者の安全・安心を脅かすことにもつながっています。

国の責任で、すべての国民がお金の心配なく安全・安心の医療、介護が受けられるように、私たちは以下の事項を求めます。

■■■ 請願事項 ■■■

- 一、医療・介護の患者・利用者負担を大幅に軽減すること。とくに75歳以上の医療費窓口負担2割化は1割に戻すこと
- 一、後期高齢者医療制度の保険料引き上げ、介護の利用者負担2割の対象拡大など、医療・介護の負担増をしないこと
- 一、医療・介護への国の予算を増額すること

お名前	ご住所 (「同上」「//」は使わないでください)
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

*この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的に使用しません。
*鉛筆や「文字が消せるボールペン」でのご記入はご遠慮ください。